

2021 年度

授 業 計 画

北 海 道 医 療 大 学

医 療 技 術 学 部

＜建学の理念＞

知育・徳育・体育

三位一体による医療人としての全人格の完成

＜教育理念＞

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

＜教育目標＞

本学の教育理念を実現するため、教育の目標を次のとおりとする。

1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
2. 確かな専門の知識および技術の修得
3. 自主性・創造性および協調性の確立
4. 地域社会ならびに国際社会への貢献

＜医療技術学部教育理念＞

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を基盤とした臨床検査の専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識と技術の開発・教授に留まらず、「考える力」を駆使する課題解決能力に秀でた人材の養成と、また、保健・医療・福祉の連携・統合を意識し、広い視野を備えた専門職業人の養成により、地域・国際社会ならびに人類の健康と幸福に貢献することを医療技術学部臨床検査学科の教育理念とする。

＜医療技術学部教育目標＞

1. 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観の涵養
2. 高い専門知識と技術の修得
3. 生涯にわたり自ら研鑽し向上する意欲の涵養
4. チーム医療の一員として協調性を持って職責を果たす能力の修得
5. 問題提起と解決能力の涵養

北海道医療大学 三方針

＜入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）＞

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、保健と医療と福祉に関する高度の研究に裏打ちされた良質な教育を行います。その教育を通して、チーム医療をはじめ地域社会や国際社会に貢献できる自立した専門職業人を育成することを目標としています。

そのため、本学では次のような人材を広く求めています。

1. 入学後の修学に必要な基礎的学力を有していること。
2. 協調性や基礎的コミュニケーション能力を有していること。
3. 生命を尊重し、他者を大切に思う心があること。
4. 保健・医療・福祉に関心があり、地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという目的意識を持っていること。
5. 生涯にわたって学習を継続し、自己を磨く意欲を持っていること。

＜教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）＞

北海道医療大学は、「保健と医療と福祉の連携・統合」をめざす教育理念を基本として、広く社会に貢献できる確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成するために、「全学教育科目」と各学部・学科の「専門教育科目」からなる学士課程教育を組んでいます。

医療技術学部

医療技術学部臨床検査学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 1年次には、医療人としての豊かな人間性と幅広い教養を養う全学教育科目、さらに、チーム医療に求められるコミュニケーション能力を養い、多職種連携に関する理解を深めることを目的とした全学部学生が合同でおこなう科目を配当する。また、人体の構造や機能を学ぶ基礎医学科目や早期に臨床検査分野に対する動機付けを図るための臨床検査学の基礎に関する専門科目を配当する。
2. 2年次には、臨床検査に対する理解を深め、専門知識を豊富にすることを目的とした臨床検査学の講義および実習科目を配当する。
3. 3年次には、臨床検査技師に必要な技術を修得することを目的とした臨床検査学および関連する実習科目、さらに医療現場での臨床検査に関する知識を深め、臨床検査技師としての自覚を培うことを目的とした臨床実習を配当する。また、臨床の現場で実際に臨床検査技師が関わるチーム医療や在宅医療の理解、患者への接遇、リスクマネジメントの重要性を学ぶことを目的とした科目を配当する。

4. 4年次には、研究を通して、科学的な思考による問題解決能力やプレゼンテーション能力を養うことを目的とした卒業研究を配当する。さらに、創造性、思考力、生涯にわたり自己研鑽する意欲を備え、指導的役割や教育・研究を担う臨床検査技師としての能力、同時に、先進・高度化する医療に対応できる能力を養うことを目的とした科目を配当する。
5. 国際的な視野で活躍できる力の育成に向けて、1年次～4年次にわたって英語の科目、そして1年次に初修外国語（ドイツ語、中国語、ロシア語）を配当し、さらに、英米哲学の問題理解（人間と思想）、グローバルな観点からの自然環境・社会経済の変化と感染症（医療社会史）、欧米の医療保険制度（医療の経済学）などの異文化理解に関する科目を配当する。
6. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、実技試験、ルーブリックを用いたレポート評価などを適宜実施する。

＜学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）＞

北海道医療大学は、各学部・学科の教育理念・目標に沿った学士課程の授業科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、かつ各学部が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

医療技術学部

医療技術学部臨床検査学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
2. 臨床検査に必要な知識と技術を修得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
4. 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。
6. 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。



2021年度 医療技術学部臨床検査学科 教務日程

日	月	火	水	木	金	土	学事内容		大学行事等	
							第1学年	第2学年		
4					1	2	3	・新入生ガイダンス 4/6(火)・7(水) ・新入生オリエンテーション 4/8(木) ・授業開始 4/12(月)～ ・教科書販売 【4/27(火)木曜振替日】	・前期教務ガイダンス 4/2(金) ・授業開始 4/5(月)～ ・教科書販売 【4/27(火)木曜振替日】	・入学式 4/10(土)
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30				
5							1		・仮進級者試験	・健康診断 あいの里
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
30	31									
6			1	2	3	4	5	・臨床検査学入門Ⅱ 施設見学		・大学祭 6/19(土)・20(日) ・大学祭振替休日 6/21(月) ・防災訓練
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30						
7					1	2	3	・臨床検査学入門Ⅰ 病院見学	・臨床検査学入門Ⅱ 施設見学 ・保健医療福祉演習 施設見学 ・前期授業終了 7/27(火) ・前期定期試験 7/28(水)～8/6(金)	
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	31			
8	1	2	3	4	5	6	7	・前期授業終了 8/3(火) ・夏季休業 8/4(水)～8/22(日) ・前期定期試験 8/23(月)～9/3(金)	・夏季休業 8/7(土)～8/31(火)	・アルバータ大学語学研修 ・大学休業日 8/13(木)～16(日)
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
	22	23	24	25	26	27	28			
	29	30	31							
9			1	2	3	4	・後期授業開始 9/6(月)～ ・後期ガイダンス 9/6(月) 【9/24(金)月曜振替日】	・後期授業開始 9/1(水)～ ・後期ガイダンス 9/1(水) 【9/24(金)月曜振替日】	・防災訓練(大地震想定)	
	5	6	7	8	9	10				11
	12	13	14	15	16	17				18
	19	20	21	22	23	24				25
	26	27	28	29	30					
10						1	2			・創立記念日 10/10(日) ・創立記念日振替休日 10/11(月) ・後援会地区別懇談会 10～11月
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
31										
11		1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30							
12			1	2	3	4	・前期定期試験 追・再試験 12/14(火)～20(月) ・冬季休業 12/21(火)～1/10(月)	・前期定期試験 追・再試験 12/14(火)～20(月) ・冬季休業 12/21(火)～1/10(月)	・大学休業日 12/29(火)～1/5(火)	
	5	6	7	8	9	10				11
	12	13	14	15	16	17				18
	19	20	21	22	23	24				25
	26	27	28	29	30	31				
1							1	・後期授業再開 1/11(火)～ ・後期授業終了 1/21(金) ・後期定期試験 1/25(火)～2/4(金)	・後期授業再開 1/11(火)～ ・後期授業終了 1/18(火) ・後期定期試験 1/25(火)～2/4(金)	
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
30	31									
2			1	2	3	4	5	・後期定期試験 追・再試験 2/1(月)～28(月)	・後期定期試験 追・再試験 2/1(月)～28(月)	
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28								
3			1	2	3	4	5	・進級判定	・進級判定	・学位記・卒業証書授与式
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	31					

は、大学休業日・祝祭日・振替休日

各期の授業期間等

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期 期間
前期	1年	15	15	15	15	15	4/12～8/3	4/1～9/5
後期	1年	15	15	15	15	15	9/6～12/13 1/11～1/21	9/6～3/31

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期 期間
前期	2年	15	15	15	15	15	4/5～7/27	4/1～8/31
後期	2年	15	15	15	15	15	9/1～12/13 1/11～1/18	9/1～3/31

2021年度 医療技術学部臨床検査学科 教務日程

	日 月 火 水 木 金 土							学事内容	大学行事等
								第3学年	
4					1	2	3	・前期教務ガイダンス 4/2(金)	・入学式 4/10(土)
	4	5	6	7	8	9	10	・授業開始 4/5(月)～	
	11	12	13	14	15	16	17	・教科書販売	
	18	19	20	21	22	23	24	【4/27(火)木曜振替日】	
	25	26	27	28	29	30			
5							1	・仮進級者試験	・健康診断 あいの里
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
6			1	2	3	4	5	・大学祭 6/19(土)・20(日) ・大学祭振替休日 6/21(月) ・防災訓練	
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
7					1	2	3	・前期授業終了 7/27(火)	
	4	5	6	7	8	9	10	・前期定期試験 7/28(水)～8/3(火)	
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
8	1	2	3	4	5	6	7	・「多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)」8/4(水)～6(金)	・アルバータ大学語学研修 ・大学休業日 8/13(木)～16(日)
	8	9	10	11	12	13	14	・夏季休業 8/7(土)～8/30(月)	
	15	16	17	18	19	20	21	・前期追・再試験 8/31～9/3(金)	
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
9				1	2	3	4	・後期授業開始 9/6(月)～	・防災訓練(大地震想定)
	5	6	7	8	9	10	11	・後期ガイダンス 9/6(月)	
	12	13	14	15	16	17	18	【9/21(火)月曜振替日】	
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
10						1	2	・創立記念日 10/10(日) ・創立記念日振替休日 10/11(月) ・後援会地区別懇談会 10～11月	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
11		1	2	3	4	5	6	・OSCE 11/6(土)	
	7	8	9	10	11	12	13	・後期授業終了 11/18(木)	
	14	15	16	17	18	19	20	・後期定期試験 11/22(月)～26(金)	
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
12				1	2	3	4	・後期追・再試験 12/8(水)～13(月)	・大学休業日 12/29(火)～1/5(火)
	5	6	7	8	9	10	11	・冬季休業 12/14(火)～1/10(月)	
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
1							1	・臨床実習 1/11(火)～3/9(水)	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
2			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28							
3			1	2	3	4	5	・進級判定	・学位記・卒業証書授与式
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				

は、大学休業日・祝祭日・振替休日

各期の授業期間等

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期 期間
前期	3年	15	15	15	15	15	4/5～7/27	4/1～9/5
後期	3年	10	10	10	10	10	9/6～11/18	9/6～3/31

医療技術学部 臨床検査学科 時間割 前期

曜日	学年	講時					キャンパス	
		I 9:00 ~ 10:20	II 10:30 ~ 11:50	III 12:40 ~ 14:00	IV 14:10 ~ 15:30	V 15:40 ~ 17:00		
月	1年	前半	多職種連携入門【安部ほか】		基礎化学【鈴木】		当別	
		後半	人間と文化(医療社会史)【保岡】 人間と文化(医療の人類学)【花淵】 人間と思想(科学技術社会と倫理)【磯部】		基礎ゼミナール(自然科学概論演習) 数学:【原田】 化学演習:【鈴木ほか】 生物演習:【近藤朋ほか】			基礎数学【原田】
	2年	免疫検査学 I 【坊垣】講義室4	臨床病態学 I 【幸村】講義室4	前半	生理学実習【小野ほか】実習室C		あいの里	
	3年		臨床微生物学 【松尾ほか】共同講義室	後半	臨床細胞病理学実習 【近藤啓ほか】実習室A			
4年								
火	1年			臨床検査学入門 I 【近藤啓ほか】講義室4	医学概論 【幸村ほか】講義室4		あいの里	
	2年	臨床検査総論 II 【吉田】講義室4	臨床病理検査学 【近藤啓ほか】講義室4	生化学実習 【藏満ほか】実習室B				
	3年		画像検査学 【沖野】共同講義室	臨床血液学実習 【高橋祐輔ほか】実習室A				
	4年							
水	1年	初級ロシア語【オレーヤージュ】 初級中国語【呉】	物理学 【長谷川】	生物学 【近藤朋】	生理学 I 【幸村】	初級ドイツ語 【阿部】	オンライン	
	2年	臨床生理学 I 【幸村】講義室4	医動物学 【松尾】講義室4	解剖学実習 【丸川ほか】実習室A			あいの里	
	3年		臨床検査管理学 【遠藤】共同講義室	臨床化学実習 【高橋祐司ほか】実習室B				
	4年							
木	1年	化学 【鈴木】講義室4	解剖学 I 【田中】講義室4	前半	基礎生物学【松尾】講義室4		あいの里	
	2年	遺伝子検査学 【吉田】	医用工学概論 【江本】	後半	臨床化学 I 【遠藤ほか】	英語 II (英語 II A) 【白鳥】		オンライン
	3年		医療情報科学 【高橋祐司】共同講義室	免疫検査学実習 【高橋祐輔ほか】実習室A			あいの里	
	4年							
金	1年	オール・イングリッシュA 【ホガードほか】講義室2・3	生化学 I 【藏満】講義室2・3	後半	基礎統計学【江本】講義室2・3	前半	運動科学演習【山口ほか】	当別 あいの里
	2年	保健医療福祉演習 【黒澤ほか】講義室4	臨床血液学 I 【田中】講義室4	前半	公衆衛生学実習【山崎ほか】実習室B・A		あいの里	
	3年		英語 II (英語 II B) 【白鳥】共同講義室	後半	臨床検査学入門 II【丸川ほか】講義室4			
	4年				臨床生理学実習 【小野ほか】実習室C			

※当別キャンパスの教室は別途案内します

医療技術学部 臨床検査学科 時間割 後期

曜日	学年	講時					キャンパス	
		I 9:00 ~ 10:20	II 10:30 ~ 11:50	III 12:40 ~ 14:00	IV 14:10 ~ 15:30	V 15:40 ~ 17:00		
月	1年			検査機器学 【松尾ほか】	基礎機器分析演習 【山崎ほか】		あいの里	
	中級中国語 【呉】							
	2年	栄養学 【荒川】	臨床血液学 II 【田中】	臨床病態学 II 【坊垣】	総合臨床検査学演習 I 【江本ほか】			
	3年	医療リスクマネジメント演習【小野ほか】		臨床実習【吉田ほか】				
4年								
火	1年	人間と思想(哲学)【森元】			情報科学 【二瓶】	医療情報処理演習 【二瓶】	あいの里	
	人間と思想(心理学)【安部】							
	人間と社会(医療の法学)【姫嶋】							
	2年	臨床病態学 III 【幸村】	薬理学 【岩尾】	遺伝子検査学実習 【吉田ほか】				
3年			画像検査学演習【沖野】					
4年								
水	1年	中級ロシア語 【オレーヤージュ】	公衆衛生学 【和田】	前半 基礎医療倫理学【磯部】	生理学 II 【幸村】	中級ドイツ語 【阿部】	あいの里	
	2年	核医学概論 【北浦】	臨床生理学 II 【小野】	臨床検査総論実習 【高橋祐司ほか】				
	3年			微生物学実習【山崎ほか】				
4年								
木	1年	人間と社会(医療の経済学) 【金盛】	臨床検査学総論 I 【吉田】	解剖学 II 【田中ほか】			あいの里	
	2年	臨床細胞診断学 【丸川ほか】	臨床化学 II 【高橋祐司ほか】	医動物学演習【松尾ほか】				
	3年	チーム医療・コミュニケーション演習【遠藤ほか】	微生物学実習【山崎ほか】					
			臨床実習【吉田ほか】					
4年								
金	1年	オール・イングリッシュB 【ホガードほか】	病理学 【藏満】	生化学 II 【藏満】	前半 日本語の表現【井上ほか】			あいの里
	2年	微生物学 【山崎ほか】	免疫検査学 II 【坊垣】	医用工学実習 【江本ほか】				
	3年	輸血・移植学演習【遠藤ほか】		微生物学実習【山崎ほか】				
4年								

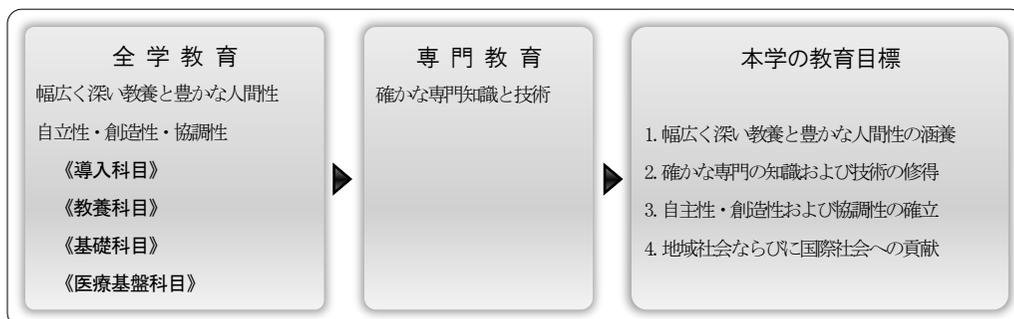
【集中講義】

3年 総合臨床検査技術演習【全教員】

全学教育について

1. 北海道医療大学の教育プログラム

本学の教育プログラムは、全学教育と専門教育から成り立っています。



全学教育と専門教育は、履修の仕組みに関して違いはありませんが、授業科目の提供の仕方が違います。

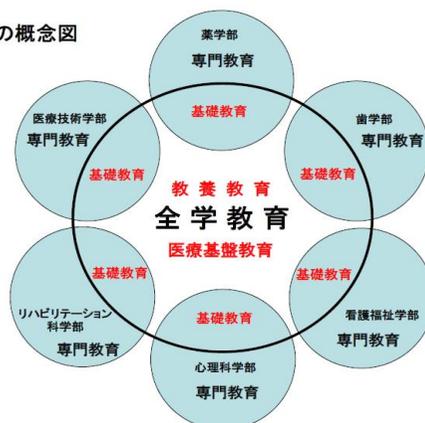
全学教育は、全学共通の視点で「全学教育推進センター」から主に人間基礎科学系教員によって授業が提供されます（一部では、専門教育担当教員も授業を提供しています）。教育目標の「幅広く深い教養と豊かな人間性」「自立性・創造性および協調性」「地域・国際社会への貢献力」を主に支えます。各学部学科は、これを活用して、入学から卒業までのカリキュラムを設計しています。

専門教育は、学部・学科ごとに主に専門教育担当教員が授業を提供するものです。教育目標の「確かな専門の知識および技術」を大きく支えます。

2. 全学教育とは

全学教育とは、北海道医療大学の教育目標を達成するために、全学共通の視点から提供される授業科目群のことを指します。他大学では教養教育、一般教育、共通教育などと呼ばれているものが該当します。

全学教育の概念図



人間基礎科学系教員は、学部と全学教育推進センターの双方に籍を置き、専門教育との連携で全学部が活用する全学教育を中心的に担っています。

専門教育担当教員は、学部学科で専門教育を担うとともに、全学教育にも責任をもち、全学教育の授業を担当する場合があります。

3. 全学教育の種類と科目区分

全学教育は<教養教育>、<基礎教育>、<医療基盤教育>に区分されます。

教養教育			幅広く深い教養と豊かな人間性を支える科目からなります。いわゆる人間力、社会力となります。導入科目と教養科目に区分されています。
導入科目		大学で学ぶ態度・習慣、技術を身につけます。 基礎ゼミナールと文章指導からなります。	
	基礎ゼミナール	学生主体で、幅広く学ぶ技術を身につけます。	
	文章指導	具体的論述のほか、抽象的表現を書けるようにします。	
教養科目		人間力の中心（教養のコア）をつくる科目として重視され、人間力の基礎を築きます。生きていくための幅広い力をバランスよく身につけるために4つの科目を用意しています。基礎科目とのバランスで履修します。	
	人間と思想	哲学・宗教・倫理などを通して、諸科学の基盤となる論理的思考と生きるための倫理観を身につけます。	
	人間と文化	文化を考察することで、人間の生のあり方を深く理解します。また異文化理解を通して、他者との共生の道を探ります。	
	人間と社会	社会・経済・法律について考えることで、現代社会の様々な課題を学びます。	
	自然と科学	自然と科学を様々な視点から正しく認識するため、物理学・生物学・化学に関する教養を学びます。	
基礎教育			専門教育を学ぶための基礎をつくる科目からなります。
外国語科目		英語・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・ロシア語の学習を通して、国際性と異文化理解能力を身につけます。	
健康・運動科学科目		健康や運動に関する基礎的知識を習得するとともに、健康を日常的に支える能力を養います。	
情報科学科目		現代の生活を支えるコンピュータ技能とその活用方法を、実習も重視しながら学びます。	
自然科学科目		専門の土台となる物理学・生物学・化学を、実験も重視しながら学びます。高校で基礎を学んでいない学生向けに、補正科目として自然科学入門も用意しています。	
人文社会科目		法学、経済学、文化人類学など、専門の土台となる人文社会系科目を学びます。	
医療基盤教育			医療全体に共通する基本的内容の科目となります。
医療基盤科目		地域連携	地域とともにある医療の基礎を学びます。
		医療倫理	医療の場で求められる共通の態度・習慣を身につけます。
		多職種連携	専門職種間の有機的な連携と協業について学びます。

4. 授業科目と授業題目

「授業科目」には、授業内容を具体的に表す「授業題目」が複数用意されているものがあります。この場合、履修規程にしたがってどの授業でも選択し、履修することができます。教養の多様性を重視する本学の教育において、各学生が様々な授業を選択できるように配慮しているからです。

特に教養科目では、内容を具体的に示す題目ごとに様々な授業が実施されており、履修した授業の単位は、その「授業題目」が置かれている「授業科目」の単位となります。

5. 単位とは

その授業の学習目標を達成したことの証拠となるものです。

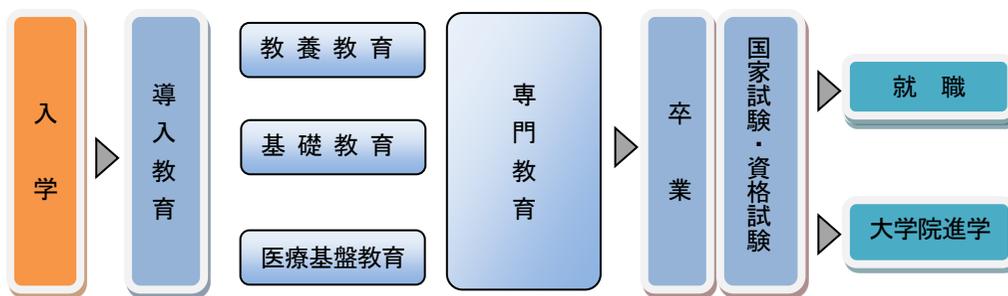
授業に出席するだけでなく、予習と復習を行ない、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た（修得した）こととなります。なお、予習と復習の学習内容については、シラバスの「学習の準備」欄に具体的に記載してあったり、担当教員から指示があります。

卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。

本学の1授業時間は、80分です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、また語学や演習科目、実験科目などは1単位となる場合があります。

6. 科目履修の概念図

入学してから卒業までの学習の過程、全学教育と専門教育との関係は図のようになります。



医療技術学部臨床検査学科 全学教育科目

種類	科目区分	授業科目	授業題目	単位数		開講年次・時間数								備考			
						1学年		2学年		3学年		4学年					
						必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	自然科学概論演習	1		30											
		文章指導	日本語の表現	1			15										
	教養科目	人間と思想	哲学	科学技術社会と倫理	2	2	30										2授業科目 4単位以上修得
			心理学		2		30										
			人間と文化	医療の人類学	2	2	30										
		医療社会史		2	2	30											
		人間と社会	医療の法学	2	2	30											
医療の経済学		2	2	30													
基礎教育	外国語科目	英語I	オーラル・イングリッシュA	1		30										2単位以上修得	
		英語I	オーラル・イングリッシュB	1			30										
		英語II	英語IIA		1				30								
			英語IIB		1					30							
		英語III	医療英語基礎		1								30				
		初修外国語	初級ドイツ語			1	30										
	中級ドイツ語				1		30										
	初級ロシア語				1	30											
	中級ロシア語				1		30										
	初級中国語				1	30											
	中級中国語				1		30										
	健康・運動科学科目	運動科学演習	運動科学演習	1			30										
	情報科学科目	情報科学	情報科学	2			30								指定科目		
		情報処理演習	医療情報処理演習	1			30								指定科目		
		統計学	基礎統計学		1		15										
医療疫学統計学				2								30					
自然科学科目	物理学	物理学	2		30												
	化学	化学	2		30												
	生物学	生命科学	2		30												
医療基盤教育	医療基盤科目	多職種連携	多職種連携入門	2		30											
		医療倫理	全学連携地域包括ケア実践演習	1	2						30						
		基礎医療倫理学		1			15										

全学教育科目 合計29単位以上（うち必修23単位）

医療技術学部臨床検査学科 専門教育科目

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考			
				1学年		2学年		3学年		4学年					
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学 I		1		30									指定科目
		解剖学 II		1			30								指定科目
		解剖学実習		1				45							指定科目
		生理学 I		1		30									指定科目
		生理学 II		1			30								指定科目
		生理学実習		1				45							指定科目
		生化学 I		1		30									指定科目
		生化学 II		1			30								指定科目
		生化学実習		1				45							指定科目
	医学検査の基礎とその疾病との関連	医学概論		1		30									指定科目
		病理学		1			30								指定科目
		薬理学		1					30						
		栄養学		1						30					
		臨床検査学入門 I		1		30									
		臨床検査学入門 II		1				30							
	保健医療福祉と医学検査	公衆衛生学		1			30								
		公衆衛生学実習		1				45							
		関係法規		1									30		
	医療工学及び情報科学	医療情報科学		1							30				指定科目
		医用工学概論		1					30						指定科目
		医用工学実習		1						45					指定科目

履 修 規 程

(目的)

第1条 この規程は、北海道医療大学学則（以下「学則」という。）第35条に定める医療技術学部学生の履修方法等について、必要な事項を定める。

(履修)

第2条 授業科目の所定の授業時間数の70%以上に出席し、試験等を受験した者は当該授業科目を履修したものとする。

(修得)

第3条 前条に定める履修の要件を満たし、試験等の結果、当該授業科目の評価が可以上の成績に認定された者は当該授業科目を修得したものとする。

(失格)

第4条 この規程において失格とは、第2条に定める当該授業科目への出席が70%未満で、試験を受験する資格がないことをいう。

(授業科目)

第5条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に修得することを原則とする。

2 在籍する学年より下級学年に配当されている授業科目を履修することは、支障のない限り許可されるが、上級学年に配当されている授業科目を履修することはできない。

(履修手続)

第6条 授業科目を履修するには、学期の始めに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定された期間内に履修届を医療技術学課に提出し、履修登録をしなければならない。

2 前項に定める手続を行わない者は、当該学期に当該授業科目を履修することはできない。

3 履修登録した授業科目の変更、追加、取り消しは認めない。

4 卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修登録することができる単位数の上限は、原則として46単位とする。ただし、編入学生についてはこの限りではない。

5 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は制限単位数を超えて履修登録を行うことができる。

(試験)

第7条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。

2 試験には、定期試験、追試験、再試験及び仮進級者試験がある。ただし、授業科目により、その他随時諸種の試験等を行うことがある。

3 次の各号のいずれかに該当する者は試験を受験することができない。

(1) 前条に定める履修登録をしていない者

(2) 失格となった者

(3) 試験開始時間に20分を超えて遅参した者

(4) 学生証を所持しない者

(5) 授業料、その他納入金を所定の期日までに完納していない者

4 試験日程及び時間割等は、別に定める。

(定期試験)

第8条 定期試験は各学期末に行う。

(試験欠席届)

第9条 前条に定める定期試験を欠席した者は、当該授業科目の試験終了後、1週間以内に試験欠席届を医療技術学課に提出しなければならない。この場合、当該試験欠席届には、欠席の事由により、次の各号に定める書類を添付しなければならない。

(1) 疾病による場合

医師の診断書(受験できなかった事由、期間が記載されているもの)

(2) 交通事故の場合

警察署の事故証明書又は交通機関の管理者の事故・遅延等の証明書(ただし、証明書が発行されない交通機関等の場合は、速やかに申し出ること。)

(3) 忌引の場合

保証人の証明書

(4) その他緊急やむを得ない場合

理由書

2 前項に定める届出のない者は、受験放棄とみなし、当該授業科目を履修無効とする。

3 第1項の届出における欠席の事由が正当と認められない者は、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(追試験)

第10条 追試験とは、前条の届け出における欠席の事由が正当と認められた者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する者は「追試験申込書」を指定の期限までに医療技術学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 前項に定める受験手続きを完了していない者及び追試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(再試験)

第11条 再試験とは、定期試験の結果が60点未満の者に対して行う試験をいう。

2 再試験を受験する者は、「再試験申込書」に受験料(1科目2,000円)を添えて、指定の期限までに医療技術学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 再試験における成績の評価は、可(60点)以下とする。

4 第2項に定める受験手続きを完了していない者及び再試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の成績は定期試験時の評点とし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(試験中の不正行為)

第12条 試験中に不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則第44条に基づき懲戒する。

2 前項の不正行為をした者は当該授業科目並びに当該試験期間中の受験該当授業科目全科目の評点を0点とみなす。

(受験心得)

第13条 受験心得については、別に定める。

(進級判定)

第14条 進級の判定は、学年末に教授会において行う。

(進級・仮進級)

第15条 当該学年に配当されている必修科目をすべて修得した者は、進級とする。

2 当該学年に配当されている必修科目(実習科目を除く)の合計のうち20%を超えない不合格科目数の場合は、仮進級とすることができる。ただし、必修科目が失格・履修無効となった者は、原則として仮進級できない。

3 第4学年への仮進級は認めない。

(仮進級者試験)

第16条 仮進級者試験とは、仮進級者に対して当該不合格必修科目について行う試験をいう。

2 仮進級者試験での不合格科目は、その年度の不合格科目数に加算する。

3 仮進級者試験は、第11条の「再試験」を読み替えて準用する。

4 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は仮進級とする場合がある。

(留年)

第17条 第15条に定める進級または仮進級の条件を満たさない者は、留年とする。

2 留年した者は、当該学年に配当されている必修の不合格科目及び失格・履修無効となった科目を再履修しなければならない。

(臨床実習の履修資格)

第18条 第3学年前期までに配当されている必修科目を全て修得した者に対し、臨床実習の履修資格を与える。

(自由選択科目)

第19条 自由選択科目の単位は、卒業必要単位に含まない。

(英語検定試験による単位認定)

第20条 本学部が教育上有益と認めるときは、大学以外の教育施設等における学修のうち、文部科学大臣が定める学修に相当する英語検定等の学修を本学部の授業科目の履修とみなし、所定の科目の単位として認定することができる。

2 前項の単位の認定に係る必要事項については、別に定める。

(補則)

第21条 この規程に定めのない事項は、教授会で決定する。

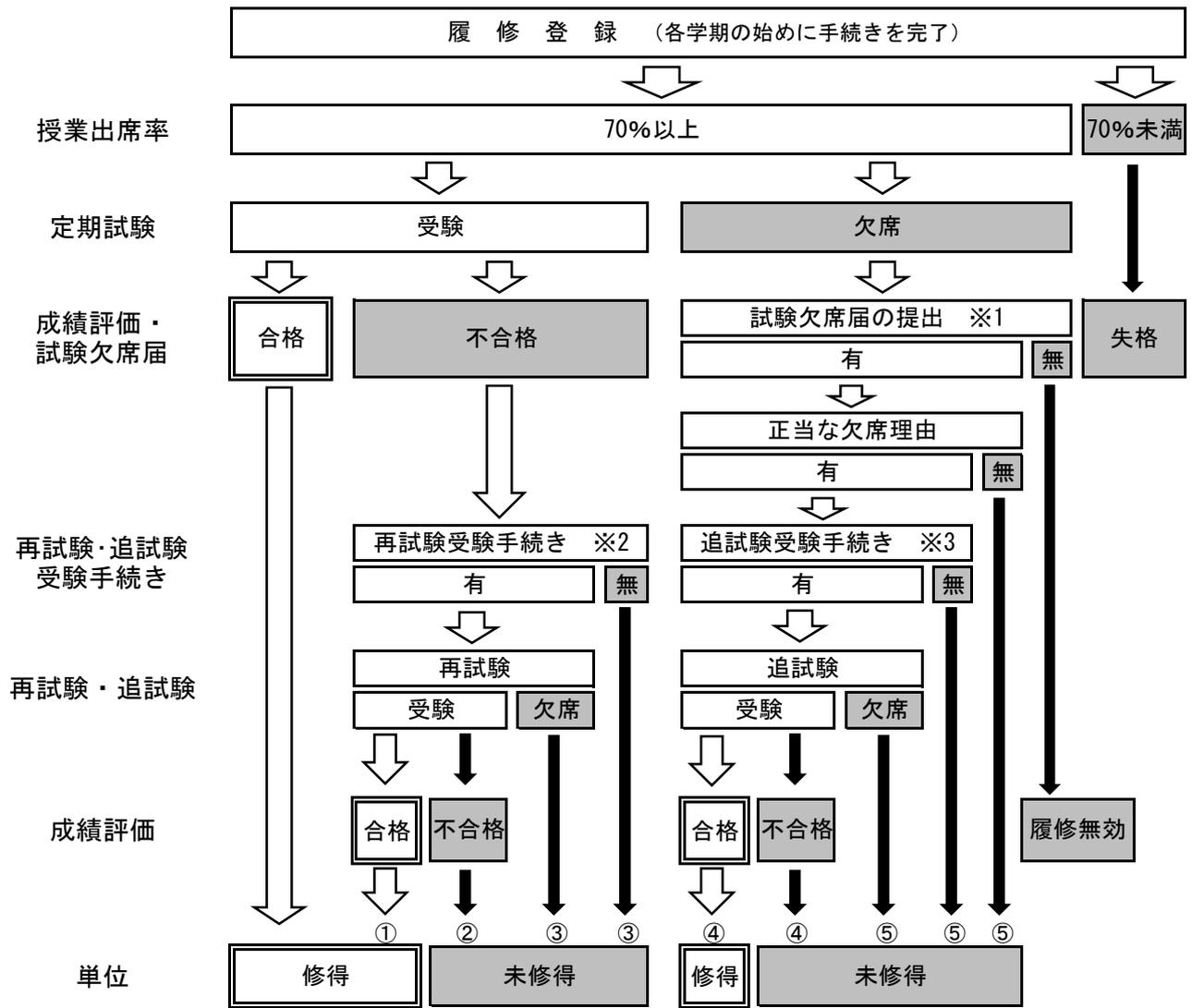
(改廃)

第22条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が決定する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

フローチャート【履修登録から単位修得までの流れ】

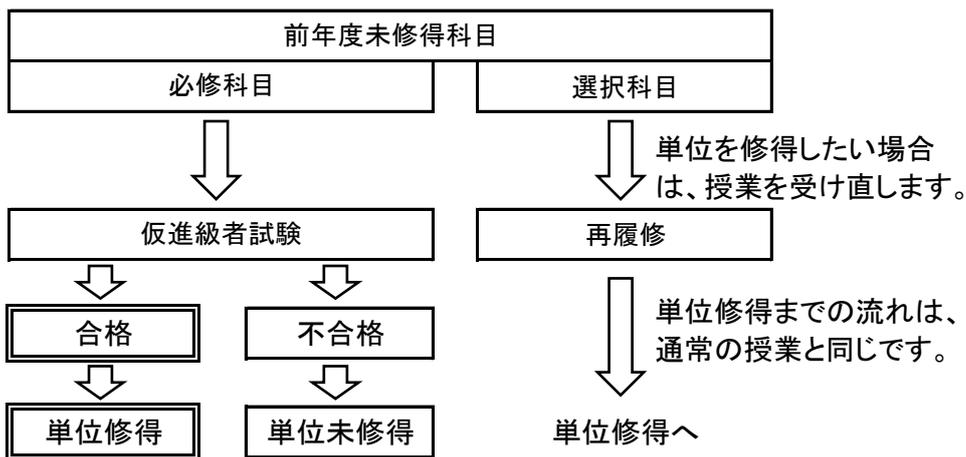


※1 試験終了後1週間以内に、必要書類（診断書、事故証明書など）を添付の上、医療技術学課へ提出
 ※2 試験日の2日前までに手続き（証明書自動発行機にて受験票を購入）を完了 1科目2,000円
 ※3 試験日の2日前までに手続きを完了 無料

- ① 評点は60点（評価は「可」）
- ② 再試験時の評点
- ③ 定期試験時の評点
- ④ 追試験時の評点
- ⑤ 評点は0点

進級の基準（医療技術学部履修規程 第15条）
 ◎履修した全ての必修科目が合格（単位修得）の場合 ----- 進級
 ◎必修科目（実習科目を除く）のうち、不合格科目数が20%を超えない場合 ----- 仮進級
 （但し、第4学年への仮進級は認めない。）
 ◎必修科目（実習科目を除く）のうち、不合格科目数が20%を超える場合 ----- 留年
 ◎実習科目が不合格、必修科目に失格・履修無効がある場合 ----- 留年

前年度未修得単位科目がある場合の単位修得までの流れ



仮進級の場合の単位修得について

必修科目に不合格がある場合でも、不合格必修科目数を考慮して仮進級が認められることがあります。その場合、前年度未修得科目は、以下の取り扱いで単位修得します。

- ① 仮進級者に対して仮進級者試験を行う。
- ② 受験手続は試験実施の2日前までとする。（1科目2,000円）
- ③ 合格者の評価は「可」とする。
- ④ 選択科目は仮進級者試験を行わないので、単位修得を希望する場合は再履修となる。
- ⑤ 仮進級者試験に不合格の場合、次年度に仮進級者試験を再度受験する。ただし、4年次への仮進級は認めない。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な所定の単位数は次の通りです。

126単位以上 [全学教育科目において29単位以上 (必修科目23単位、選択科目6単位以上)、
専門教育科目において97単位以上 (必修科目93単位、選択科目4単位以上)]

オフィスアワー

・オフィスアワーとは

教員が特定の曜日・時間をあらかじめ定め、学生からの授業に関する質問や
学生生活、進路などの相談に個別に応じるため研究室等で待機している制度で
す。面談を希望する場合は、各教員の日時を確認の上、利用してください。

1. オフィスアワーの時間帯は、研究室を訪ねる際に事前の予約は必要ありません。
2. オフィスアワーの時間以外でも研究室への来訪を受け付けている教員もいるので、E-mailなどで問い合わせてください。
3. 複数の学生が同時に利用することもあるため、授業の前後や E-mailなどで事前予約をすると確実です。
4. オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで不在場合があります。

※前期は4月、後期は10月にオフィスアワーを確定し、詳細を本学 HP や掲示などで周知します。

英語 III

医療英語基礎

【概要】

現在の日本の医療分野においては、最先端の医療情報を積極的に収集するために、臨床検査技師も、医学誌・論文での学習、論文の執筆、国際学会での発表など英語が必要とされる局面が増えてきている。そのため、医療分野に関する様々な課題をもとにリーディングを中心に演習を行い、将来的に国際的に活躍できる臨床検査技師を目指し、医療分野の英文や論文に特有な英語に慣れ親しみ、理解する。基礎的英語力と医学の専門知識を高めることで、基礎科学から最新の医学知識を学ぶ読解力の向上を目指す。

統計学

医療疫学統計

【概要】

基礎統計学で習得した統計学的な考え方をもとに、公衆衛生のみならず医療における様々なデータを正しく理解するためには、疫学と統計学の知識は必須である。本講義では、疫学の基礎となる罹患率・死亡率・致命率・人年法から、記述疫学や分析疫学の考え方、その研究内容を基礎統計学で学習した知識をと共に習得する。疫学の考え方は、医療現場以外の対象にも応用することができるため、医療疫学統計学を通じて、社会医学への理解を深める。

関係法規

【概要】

臨床検査技師等に関する法規について理解し、業務範囲や医療過誤とその防止にむけた対策について理解する。また、臨床検査技師以外の保健医療関係者や食品衛生に関する法規を理解しチーム医療への理解を深める。本講義では1) 法の概念・種類、2) 臨床検査技師の業務制限と業務範囲、3) 臨床検査技師および他の医療職に関する法規について、4) 個人情報保護法の概要、5) 医療過誤について、6) 予防・保健医療に関する法規、7) 食品衛生に関する法規、8) 製造物の取引に関する法規について学習する。

臨床検査医学総論演習

【概要】

臨床検査の臨床的意義や重要性を理解するためには、様々な病気に関する知識とその病気を診断するために必要な検査や検査結果の解釈について総合的に理解する必要がある。本演習は臨床病態学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで学んだ様々な病気に関する知識と各種臨床検査に関する専門的な講義・実習で学んだ知識と技術を整理し関連づけることにより、病気という視点から広く臨床検査を理解することを目的としている。本演習は今までに学んだことを振り返りつつ、それに関連する演習問題やR-CPCなどを活用し理解度を確認しながら授業を進めていく。

臨床血液学演習

【概要】

本演習は2・3年次に行われた臨床血液学Ⅰ、臨床血液学Ⅱと臨床血液学実習で学んだ、血液細胞と血栓・止血関連の検査に対する知識を再確認するとともに、多くの臨床症例を検討することで、総合的に理解力を向上させる。さらに、基礎的および臨床的な問題、特に血球細胞の塗沫像を反復して観察することで臨床血液学についてより理解を深め、卒業後に臨床検査技師として必要とされる基礎的および臨床的な血液検査の知識を得る。

医療分子機能科学

【概要】

生体の細胞レベルで起こる生命現象を、分子生物学的観点から追求し、様々な疾患に関連した遺伝子やタンパク質の機能を、基礎研究の成果に基づいて解析し学ぶ。さらに、ストレス、糖尿病や高脂血症などの代謝疾患、各種がんに対する診断や治療効果の指標となる、新規バイオマーカーの可能性を血液、尿、組織中のDNA、RNAや蛋白質を用いて、ゲノムレベルで網羅的に検討し臨床応用の可能性について模索する。

臨床細胞病理学演習

【概要】

病理診断学、細胞診断学とは疾患の本態を主として形態学的な立場から探求する学問であり、基礎医学（解剖学・生理学・生化学など）と、臨床医学（疾患の診断・治療を探求する）をつなぐ位置を占めている。これまで習得してきた解剖学、臨床病理検査学、臨床細胞診断学、臨床細胞病理学実習の知識を基に、人体病理学、外科病理診断学、細胞診断学、分子病理診断学について総合的に理解することを目的とする。

分子細胞病理学

【概要】

臨床細胞病理学 I、II および臨床組織・細胞病理学実習で学習した知識と技術をもとに、様々な検体の正常、異常標本を観察することで、臨床現場に出た際の即戦力を養う。本講義では1) 細胞検査士について、2) 女性生殖器の細胞診、3) 呼吸器の細胞診、4) 表在臓器（乳腺・甲状腺・唾液腺）の細胞診、5) 泌尿器の細胞診、6) 消化器の細胞診、7) リンパ節の細胞診、8) 体腔液・脳脊髄液の細胞診、9) 骨・軟部組織の細胞診について、実際の臨床検査で判定が難しい標本についての観察をおこなう。

臨床化学演習

【概要】

これまでに、血液、尿など身体の試料（体液）を対象に量や性質を分析して病気の診断や治療効果の評価を行うための化学的な手法を習得してきた。臨床現場では、分析結果の正確性や迅速性に加え、複数の項目を同時に効率よく組み合わせて測定して全身状態を把握する必要がある。それには測定原理、採取容器の選択、物質の安定性や測定試薬同士のコンタミネーションなど、臨床化学の様々な知識を総合的に考慮することが求められる。本演習では、臨床化学を臨床の場で活かすためのマネジメントを行う上で必要な知識を理解することを目的とする。

先進医療検査学

【概要】

分析技術・機器のめざましい進歩にともない、多くの先進的な技術が研究所や臨床検査に導入されている。これに伴い遺伝子分析科学認定士や医用質量分析認定士など様々な先端医療に対応できる資格制度も設けられるようになった。本講義では、1) 培養した細胞に目的の蛋白を作る遺伝子を導入した後、目的の蛋白を精製するまでの一連の過程、2) 質量分析装置、3) 次世代シーケンサーなどの新たに導入された、もしくはされるであろう先進技術についての知識と技術を学習する。

臨床検査学総論演習

【概要】

臨床検査学総論 I、臨床検査学総論 II、臨床検査学実習、臨床実習で習得した知識を整理し、さらに、総合的な知識や理解力を高めるために振り返りの授業をおこなう。本講義では様々な演習問題や Reversed Clinicopathological Conference (R-CPC) を通して、卒業後に臨床検査技師として必要とされる一般検査の知識ならびに一般検査と他の臨床検査との関連について学習する。

遺伝子・染色体分析科学

【概要】

遺伝子検査学、遺伝子検査学実習で習得した知識と技術を整理し、より専門的な知識と高度な実習をおこなうことで、卒業後、遺伝子検査関連検査、研究の基礎となる知識と技術を修得する。本演習では1) 遺伝子検査に必要な器具の操作方法、2) 遺伝子配列の検索、3) 遺伝子検査法の開発とその評価、4) 遺伝子クローニング、5) 遺伝子配列の解析、6) 次世代シーケンサー、7) 細胞培養方法、8) 染色体検査についての講義と実習をおこなう。

免疫検査学演習

【概要】

免疫システムは生体防御の中心的役割を果たしておりその破綻により様々な疾患が引き起こされる。これまでに免疫検査学 I および II において様々な知識を習得し、さらに免疫検査学実習を通じて免疫学の基本的なしくみを自らの手で確認してきた。しかしながら、臨床現場において免疫異常が関わる疾患を理解する上では、これまで学んだ知識をさらに有機的に連結していく必要がある。そこで本講義では、免疫学システムについて様々な視点から眺めることで、免疫学について統合的に理解することを目的とする。

免疫細胞生物学

【概要】

免疫学 I、II および免疫検査学実習で習得した知識、技術をもとに膠原病やリウマチ性疾患などの免疫疾患の捉え方を身につける。ヒト末梢血細胞分離、リンパ球等の細胞分画、フローサイトメトリー法、リンパ球等の機能解析(サイトカイン産生能、細胞刺激応答性など)、細胞死、免疫システムに関わる分子の機能解析などについての講義、細胞生物学的手法および分子生物学的手法を用いた実習を通して免疫学と免疫疾患の関わりを学習する。

臨床微生物学演習**【概要】**

現代社会の脅威となる感染症を克服するために、これまでに微生物学および臨床微生物学において様々な知識を習得し、さらに微生物学実習を通じて微生物の基本的な性状を自らの手で確認してきた。しかしながら、臨床現場において微生物感染症対策を実践していくうえでは、これまで学んだ知識をさらに有機的に連結していく必要がある。そこで本講義では、微生物学および臨床微生物学の境界を取り払い、様々な視点から微生物感染症を眺めることで、微生物について統合的に理解することを目的とする。

感染生物学**【概要】**

現代医療において、感染症は治療だけでなく、予防にも重点をおいた対策が重要である。そのためには、既存の知識にとらわれない新しい発想の下、感染症が引き起こされる詳細な分子メカニズムを理解し、病原体の弱点を探る必要がある。本講義では、まず 1) 感染とは、および 2) 各種病原体による感染機構、を講義することで病原体の感染メカニズムを理解し、それらを解き明かすための 3) 病原体の感染メカニズムの解析手法について演習形式で学習する。

食品衛生学**【概要】**

衛生環境が向上した現代においても、食品由来による健康被害は報告されており、死に至る症例も報告されている。これらに対処するために、適切な知識および予防法に関する知識が必要である。食品の適切な衛生管理法および食中毒の原因を、科学的根拠に基づき学習する。本講義では、食品衛生の定義、細菌性食中毒、毒素型食中毒、感染型細菌性食中毒、自然毒食中毒、動物・植物性毒食中毒、マイコトキシン、発がん物質、食品添加物について学習する。「健康食品管理士」「食品衛生管理者・食品衛生監視員」の受験資格を得るためには、本講義の受講が必要。

臨床生理学演習**【概要】**

生理学的検査の中心となる脳神経系・循環器系・呼吸器系・聴覚系を各講義で学び、解剖を始め、様々な生理的機能、そして疾患・病態について学んできた。さらに各機能を評価するために生理学検査の装置、検査手技、計測方法を習得してきた。これらを臨床の現場で実践できるようにするために、総合的に理解を深める必要がある。画像解析や各検査で得られた波形や検査結果の臨床的意義を理解し、医療現場に精度の高い結果を提供できる判断力を養う。弱点分野を克服し安定した実力を身に付け、生理検査学を総合的に学習する。

実践超音波検査学

【概要】

超音波検査には術者の知識と技術が重要となると考える。様々な疾患に対して日常臨床に多く用いられるため、対応するための基本的な技術を習得する。これまでの講義（画像検査学）で習得した超音波検査の操作方法と画像解析の知識をもとにより高度な判断力と多角的な臨床評価ができる力を養う。超音波検査においてさらに踏み込んだ知識を得るために、研究テーマを決め超音波を用いた診断や、検査方法、超音波の原理について研究していく。

総合臨床検査学演習 II

【概要】

学内での講義や実習で得た知識と技術、臨床実習の経験を元に、臨床検査技師に関する全分野について基礎と臨床を結びつけながら知識を応用し、臨床検査技師としての応用力を身につける。本講義では1) 医用工学概論、情報科学概論、検査機器総論、2) 公衆衛生学、関係法規、医学概論、3) 臨床検査医学総論、臨床医学総論、4) 臨床検査総論、検査管理総論、医動物学、5) 病理組織細胞学、解剖学、病理学、6) 臨床生理学、生理学、7) 臨床化学、生化学、RI 技術学、8) 臨床血液学、9) 臨床微生物学、微生物学、10) 臨床免疫学、11) 臨地実習の振り返り・疑問について総合的に学習する。学科の全教員が担当する。

総合臨床検査学演習 III

【概要】

国家試験の対象となる全分野について、過去の国家試験問題および予想問題を中心に総合的に学習することで臨床検査全体のより深い知識を得る。本講義では1) 医用工学概論、情報科学概論、検査機器総論、2) 公衆衛生学、関係法規、医学概論、3) 臨床検査医学総論、臨床医学総論、4) 臨床検査総論、検査管理総論、医動物学、5) 病理組織細胞学、解剖学、病理学、6) 臨床生理学、生理学、7) 臨床化学、生化学、RI 技術学、8) 臨床血液学、9) 臨床微生物学、微生物学、10) 臨床免疫学、11) 臨地実習に関わる内容について総合的に学習する。学科の全教員が担当する。

医療安全管理学演習

【概要】

医療現場では、些細なミスやその重なりが過誤または事故に繋がる可能性がある。一方で、近年の法改正により、臨床検査技師の検体採取における業務内容が拡大した。臨床検査技師による検体採取は、質の高い検査精度の保証を担保する上で重要である一方で、医療事故が起こる可能性もある。本講義は、医療安全の歴史や現状から基本概念を学び、安全管理に必要な知識および技術の習得、さらに検体採取（採血を除く）に必要な知識と技術習得を目的とする。また、実習では、皮膚表在組織病変部からの検体採取、咽頭・鼻腔拭い液の採取、および鼻腔吸引液の採取を、学生間でおこない、採取者および患者両面の立場・気持ちを理解する。

臨床検査研究セミナー**【概要】**

1－4年生で学んだ知識および技術を基盤として、臨床検査学に関する基礎、臨床、応用的な研究に取り組む。医学研究における臨床検査の位置づけを理解し、研究に取り組む姿勢、研究目的を達成するための実験計画の作製、研究データの解釈と処理方法、研究成果の発表方法（学会発表、論文作成）を学び、プレゼンテーションおよびディスカッションから研究の意義と問題点について考察する力を養う。本セミナーでは1) 学術論文の検索方法、2) 学術論文抄読、3) 実験計画書作成、4) 調査・研究、5) 実験ゼミ、6) 発表スライド作製・発表を行い研究方法について学習する。学科の全教員が担当する。

健康食品学**【概要】**

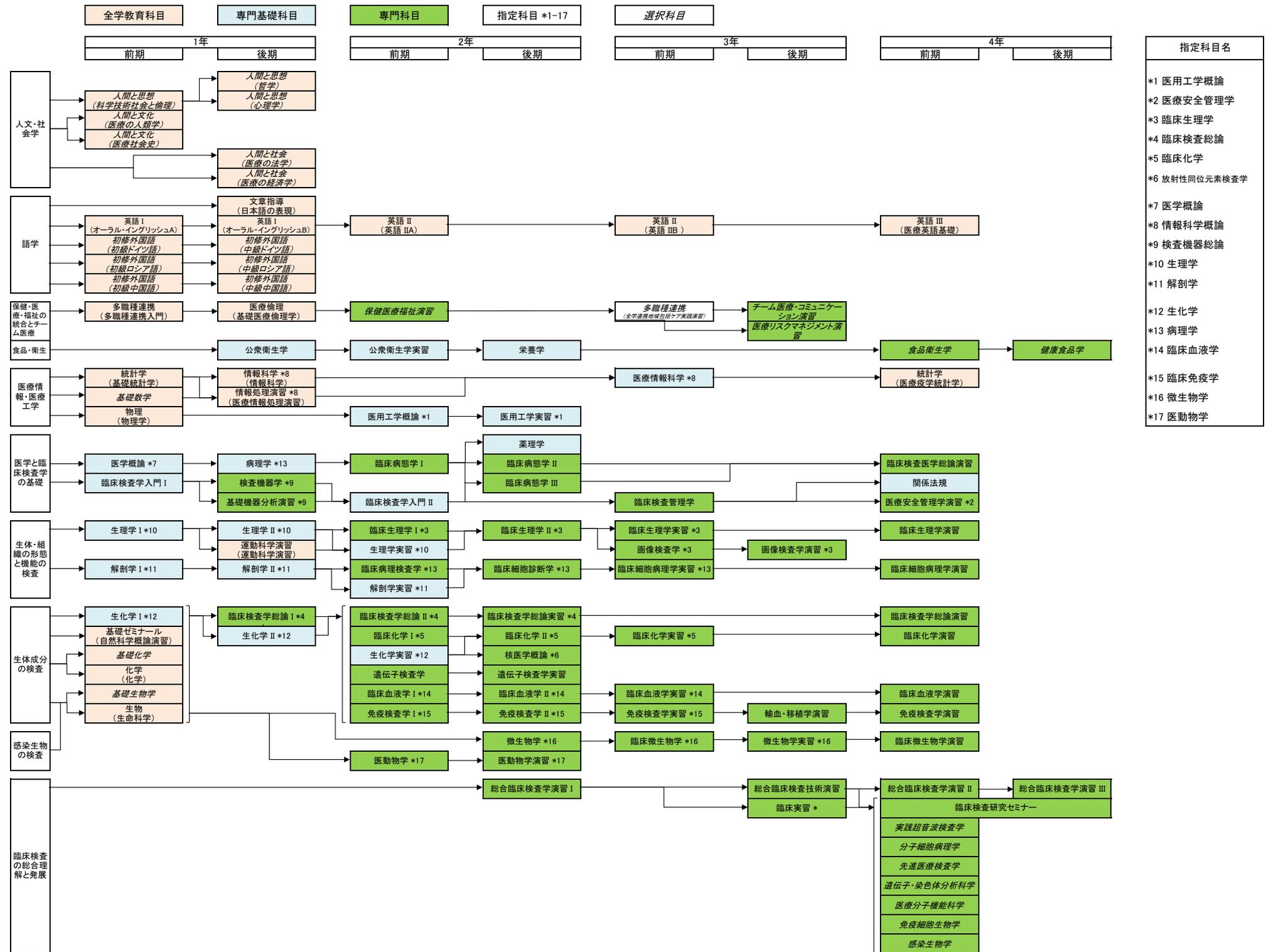
高齢化社会を迎え、健康に対する関心がこれまで以上に高まっている。食は未病、予防医学を支える一因であることから、一般の食品のみならず、健康に寄与するとうたわれる様々な食品、いわゆる「健康食品」が流通し、多くの消費者がそれを利用している。しかしながら健康食品においては、効果の有無、安全性、薬品との相互作用など明確にすべき多くの問題が残されている。したがって、これらを科学的根拠に基づき適切に助言・指導するコミュニケーターが必要である。本講義では、「健康食品管理士」として必要な食品に関する知識を習得するために、1) 食品の機能と健康食品の定義、2) 健康食品の問題点・安全性、3) 健康食品の主成分・効能、4) 医薬品・検査との相互作用、5) 臨床での栄養アセスメントについて学習する。「健康食品管理士」「食品衛生管理者・食品衛生監視員」の受験資格を得るためには、本講義の受講が必要。

医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラムマップ

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)							教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー (CP)]
生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。	臨床検査に必要な知識と技術を修得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。	保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。	臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。	多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。	臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。		
1年次履修	文章指導(日本語の表現)(1.5)	基礎セミナー(自然科学概論演習)(1)	文章指導(日本語の表現)(1.5)	多職種連携(多職種連携入門)(1)	文章指導(日本語の表現)(1.5)	多職種連携(多職種連携入門)(1)	
	人間と思想(哲学)(1.5)	物理学(物理学)(1)	人間と思想(心理学)(1.5)	基礎セミナー(自然科学概論演習)(1)	人間と思想(哲学)(1.5)	情報科学(情報科学)(1)	
	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	化学(化学)(1)	人間と文化(医療社会史)(1.5)	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	情報処理演習(医療情報処理演習)(1)	
	人間と思想(心理学)(1.5)	生物学(生命科学)(1)	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	人間と思想(心理学)(1.5)	統計学(基礎統計学)(1)	
	人間と文化(医療の人類学)(1.5)	解剖学 I・II(1)	多職種連携(多職種連携入門)(1)	英語 I(オーラル・イングリッシュA・B)(1.5)	人間と文化(医療の人類学)(1.5)	人間と思想(哲学)(1.5)	
	人間と社会(医療の法学)(1.5)	生理学 I・II(1)	医療倫理(基礎医療倫理学)(1)	初修外国語(初級・中級ドイツ語)(1.5)	人間と文化(医療社会史)(1.5)	人間と思想(科学技術社会と倫理)(1.5)	
	人間と社会(医療の経済学)(1.5)	生化学 I・II(1)	医学概論(1)	初修外国語(初級・中級ロシア語)(1.5)	人間と社会(医療の法学)(1.5)	医学概論(1)	
	英語 I(オーラル・イングリッシュA・B)(1.5)	病理学(1)	臨床検査学入門 I(1)	初修外国語(初級・中級中国語)(1.5)	人間と社会(医療の経済学)(1.5)	公衆衛生学(1)	
	初修外国語(初級・中級ドイツ語)(1.5)	臨床検査学入門 I(1)		基礎数学(1)	英語 I(オーラル・イングリッシュA・B)(1.5)		
	初修外国語(初級・中級ロシア語)(1.5)	臨床検査学総論 I(1.2)		基礎化学(1)	初修外国語(初級・中級ドイツ語)(1.5)		
初修外国語(初級・中級中国語)(1.5)	検査機器学(1.2)		基礎生物学(1)	初修外国語(初級・中級ロシア語)(1.5)			
運動科学演習(運動科学演習)(1)	基礎機器分析演習(1.2)			初修外国語(初級・中級中国語)(1.5)			
多職種連携(多職種連携入門)(1)	公衆衛生学(1)						
医療倫理(基礎医療倫理学)(1)							
医学概論(1)							
2年次履修	英語 II(英語 IIA)(1.5)	公衆衛生学実習(1.2)	臨床検査学入門 II(1.2)	英語 II(英語 IIA)(1.5)	英語 II(英語 IIA)(1.5)	公衆衛生学実習(1.2)	
	保健医療福祉演習(1.2,3)	解剖学実習(1.2)	保健医療福祉演習(1.2,3)	公衆衛生学実習(1.2)		解剖学実習(1.2)	
	薬理学(1.2)	生理学実習(1.2)				生理学実習(1.2)	
	栄養学(1.2)	生化学実習(1.2)				生化学実習(1.2)	
	臨床病態学 I・II・III(1.2)	薬理学(1.2)				医用工学実習(2.3)	
		栄養学(1.2)				臨床検査学総論実習(2.3)	
		臨床検査学入門 II(1.2)				臨床検査学総論実習(2.3)	
		医用工学概論(2)				遺伝子検査学実習(2.3)	
		医用工学実習(2.3)				医動物学演習(2.3)	
		臨床病態学 I・II・III(1.2)				総合臨床検査学演習 I(2)	
		臨床血液学 I・II(2)					
		臨床病理検査学(2)					
		臨床細胞診断学(2)					
		臨床化学 I・II(2)					
		臨床検査学総論 II(2)					
		臨床検査学総論実習(2.3)					
		核医学概論(2)					
		遺伝子検査学(2)					
		遺伝子検査学実習(2.3)					
		免疫検査学 I・II(2)					
	微生物学(2)						
	医動物学(2)						
	医動物学演習(2.3)						
	臨床生理学 I・II(2)						
	総合臨床検査学演習 I(2)						
3年次履修	英語 II(英語 IIB)(1.5)	医療情報科学(2)	チーム医療・コミュニケーション演習(1.2,3)	英語 II(英語 IIB)(1.5)	英語 II(英語 IIB)(1.5)	総合臨床検査技術演習(3)	
	チーム医療・コミュニケーション演習(1.2,3)	臨床血液学実習(2.3)	医療リスクマネジメント演習(1.2,3)	臨床実習(3)		臨床実習(3)	
	医療リスクマネジメント演習(1.2,3)	臨床細胞病理学実習(2.3)	臨床検査管理学(2)	臨床血液学実習(2.3)		医療情報科学(3)	
	臨床実習(3)	臨床化学実習(2.3)	臨床実習(3)	臨床細胞病理学実習(2.3)		臨床血液学実習(2.3)	
	医療安全管理学演習(2.3)	免疫検査学実習(2.3)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)(1)	臨床化学実習(2.3)		臨床細胞病理学実習(2.3)	
	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)(1)	輸血・移植学演習(2.3)		免疫検査学実習(2.3)		臨床化学実習(2.3)	
		臨床微生物学(2)		輸血・移植学演習(2.3)		免疫検査学実習(2.3)	
		微生物学実習(2.3)		微生物学実習(2.3)		輸血・移植学演習(2.3)	
		臨床生理学実習(2.3)		臨床生理学実習(2.3)		微生物学実習(2.3)	
		画像検査学(2)		画像検査学演習(2.3)		臨床生理学実習(2.3)	
		画像検査学演習(2.3)		総合臨床検査技術演習(3)		画像検査学演習(2.3)	
		臨床検査管理学(2)		医療安全管理学演習(2.3)		医療安全管理学演習(2.3)	
	総合臨床検査技術演習(3)		多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)(1)		多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)(1)		
	臨床実習(3)						
	医療安全管理学演習(2.3)						
4年次履修	英語 III(医療英語基礎)(1.5)	臨床検査研究セミナー(4)	臨床検査研究セミナー(4)	英語 III(医療英語基礎)(1.5)	英語 III(医療英語基礎)(1.5)	臨床検査研究セミナー(4)	
	臨床検査研究セミナー(4)	臨床検査医学総論演習(3)	関係法規(2)	臨床検査研究セミナー(4)		統計学(医療疫学統計学)(3)	
	関係法規(2)	臨床血液学演習(3)	食品衛生学(4)	臨床検査医学総論演習(3)		医療分子機能科学(4)	
	食品衛生学(4)	医療分子機能科学(4)	健康食品学(4)	臨床血液学演習(3)		分子細胞病理学(4)	
	健康食品学(4)	臨床細胞病理学演習(3)		臨床細胞病理学演習(3)		先進医療検査学(4)	
		分子細胞病理学(4)		臨床化学演習(3)		遺伝子・染色体分析科学(4)	
		臨床化学演習(3)		臨床検査学総論演習(3)		免疫細胞生物学(4)	
		先進医療検査学(4)		免疫検査学演習(3)		感染生物学(4)	
		臨床検査学総論演習(3)		臨床微生物学演習(3)		実践超音波検査学(4)	
		遺伝子・染色体分析科学(4)		臨床生理学演習(3)		総合臨床検査学演習 II・III(5)	
		免疫検査学演習(3)		総合臨床検査学演習 II・III(3)			
		免疫細胞生物学(4)					
		臨床微生物学演習(3)					
		感染生物学(4)					
		臨床生理学演習(3)					
	実践超音波検査学(4)						
	総合臨床検査学演習 II・III(3)						

必修科目(対応するCP番号)
選択科目(対応するCP番号)
自由選択科目(対応するCP番号)

医療技術学部 臨床検査学科 履修系統図



- 指定科目名
- *1 医用工学概論
 - *2 医療安全管理学
 - *3 臨床生理学
 - *4 臨床検査総論
 - *5 臨床化学
 - *6 放射性同位元素検査学
 - *7 医学概論
 - *8 情報科学概論
 - *9 検査機器総論
 - *10 生理学
 - *11 解剖学
 - *12 生化学
 - *13 病理学
 - *14 臨床血液学
 - *15 臨床免疫学
 - *16 微生物学
 - *17 医動物学